

Special 座談会

在校生 × 卒業生 × 先生

出会いはここから。

一生支え合う仲間と歩む、
看護の未来へ。



看護の学び舎で生まれる友情と信頼。学生・卒業生、そして先生が語り合う仲間との出会いの大切さとリアルな体験談をご紹介します。

「こちらの学校に入ろうと思ったきっかけを教えてください」

長田 キっかけは、いろいろな学校のオープンキャンパスに参加しましたが他の学校より先生や先輩も優しく和気あいあいとして学校の雰囲気よかったのと、系列の病院もあるので、就職に関しても安心なので入学を決めました。

川野 私は姉がこの学校の卒業生で、日々、学校に通う姿をみていて「楽しそう」と感じたのがきっかけです。

松山 私もオープンキャンパスで先生たちや先輩が「わからないことがあったら聞いて」と優しく「いいなあ」と思いました。系列の病院もあるので安心して実習できます。

先生 そう言ってもらえて嬉しいですね。本校は他の学校と比べると建物自体、古くて小さいのですがその環境の中でも教員や学生たちは「学校で楽しく過ごしている」ということがオープンキャンパスで伝わるように配慮しています。

「実際に入ってみて、感想は？」

長田 クラスのみんなは仲良く、切磋琢磨してお互いを高め合っている感じがです。

松山 私も入学してよかったことは、お互いに高めあい、励まし合える仲間ができたことです。また、実習先には先輩方もいてくださり、心強いです。

川野 私は戴灯式が厳かで印象的でした。みんなで考えた「誓いの言葉」を宣言し、気持ちを新たにいい節目を感じることができました。

油木 私は社会人経験をしてから入学しました。そういう人にもサポートもあり、いくつになってもやる気次第で、自分の進む道を決められます。また、系列の病院などに先輩もいるので、実習で丁寧に教えてもらえることもありがたいです。

永池 そうですね。魅力としては、先生たちの距離も学生と近く、親身になって悩み相談にに応じてくださり、在学時はもちろん、卒業してから声をかけてもらえ

ることも嬉しいですよ。

川野 あと実習中に病棟ごとに担当の先生がいるので安心感があります。他の学校は病院ごとだと聞くので、心強いです。

先生 他の学校は系列の病院がなかったりするので、いろいろな病院へ行くことになり、担当の先生も病院ごとに分けられていたりするので、系列の病院があるのは学生にとって、リラックスできる環境かも知れませんね。

「学校でのクラブ活動やイベントのようなものはありますか」

先生 ボランティア活動とかあるよね。

川野 はい、1年生の時に「鹿児島マラソン」のボランティア活動に参加しました。まさにリアル体験で、実際にマラソン中に体調を崩された方に遭遇して、救護班としていろいろな状況を見ることができました。

先生 2年生の後半になってからは実習が始まるので、そういう活動は余裕がある1年生の時に行っています。3年生はほぼ実習ですね。

「卒業生の先輩方へ質問です。」

学校生活で一番大変だったことは？」

油木 実習が大変でした。特に展開の早い外科が。毎日、患者さんの状況が変わるので、情報を取ってついていくのが大変でした。

永池 私も外科が大変でした。朝早く起きて、家に帰ってから記録物が多くて、寝れないこともありました。

「逆に楽しかったことは？」

永池 私は地域体験学習で民泊をした時に温泉に入ったり、ご飯を食べたことが楽しかったです。また、今思い返せば、国試はとても大変でしたが、みんなで合格祈願の“だるま”に目を入れたり、みんなで一緒に国試の学習をしたこともいい思い出です。

油木 私は入学して最初の活動でベットメイキングをしたことが印象に残っています。そこで、みんなと仲良くなっていきました。国試を受ける際も福岡に前泊して、みんなで行けたことが緊張している中でも楽しかったです。

「一番、役立ってることは？」

油木 実習で患者さんの気持ちを知りました。学校で学んだことと患者さんの状況を結びつけて実践に繋がっていくことが役に立っています。

永池 私は「仲間と協力する」ことをここで学んで、実習中や試験も仲間がいたから乗り越えられました。今の職場でも大変なことがあったら同期に伝えて一緒にわちあって、苦楽を共にしています。

「進路や将来の夢に向けて、学校からどのようなサポートがありますか？」

先生 ほとんどの学生が奨学金をもらっているのも、その手続きの案内などのサポートをしています。

長田 就職先など系列の病院はもちろん、その他の病院の説明会もあり、教室には各病院の案内やパンフレットも準備してあったりとさまざまな角度からサポートしてもらっています。

「入学を考えている方へメッセージはありますか？」

油木 はい、卒業生として伝えたいです。高校の生徒さんはもちろん、社会人になってからでも奨学金があり、雰囲気がいいので若い学生たちと一緒に気兼ねなく学べます。あまり心配せず、「悩んでいるようでしたら行動すること」をおすすめします。

先生 そうですね。最近は男性の入学者も増えてきて、最高齢は48歳で入学して見事50代になって卒業されました。学生は個性豊かなので、その学生のカラー（タイプ）を見ながらその子にあったグループ分けなど支援方法も工夫しています。

在校生から卒業生に質問

松山「看護師の免許を取ってどうですか？」

油木 免許を持っていると強いですね。就職など職場で困ることはないです。

永池 本当、職場は病院だけでなく、海外のワーキングホリデーや企業・幼稚園など働けるところは、さまざまあるのもいいですよ。

長田「働いていて大変なことはどうやって乗り越えましたか？」

永池 同期や先輩がいるので、相談事や困ったことを話したりして、自分一人で抱え込まないこと、美味しいものを食べることも大切です。（笑）

川野「実習で頑張ったらいいいことを教えてください」

永池 一生懸命課題をしていればいいですよ。こちらは、来てくれるだけで有り難いので。

油木 患者さんやご家族に実習を受け入れてもらえたことに感謝して、困った時は自分で溜め込まずに相談することが大切です。

長田「学校でおすすめの勉強法はありますか？」

永池 実習で出会った患者さんの疾患を見て、それを取りあげて授業と繋げて勉強するといいですよ。

油木 授業をしっかり聞き、国試の過去問を解く。先ほど、永池さんも言っていましたが実習で体験したことを結びつけて勉強するとわかりやすいです。

先生からメッセージ

私は、看護学校での出会いは一生の友達を見つけることのできる場所だと思います。学生生活は楽しいこともあるのですが実習が始まると大変なこともあり、壁にぶつかることもあります。自分一人ではなかなか乗り越えられないこともあり、友達とみんなで助け合ったり、そこに教員の私たちも関わったりしています。わからないことがあれば、なんでも相談してください。

